



目指す生徒像 ～本気 勇気 元気 根気～

いじめゼロを目指して

10月2日(水)の朝にいじめ根絶集会を行いました。今回も前回同様に、生徒会の手による生徒主導の行事としました。まず最初に、いじめゼロポスターコンクールで入賞した8人の生徒を表彰しました。金賞4人、銀賞4人一人一人に生徒会長から賞状を手渡しました。その後、どのようなことをイメージして作品を作成したかを聞いたところ「優しいクラスになってほしい」「相手を思いやる気持ちをもってほしい」「一人一人個性があることをわかってほしい」という願いを込めて作成したと発表してくれました。



続いての活動では、昨年度も別な形で行ったNHKで実施している「マダ友プロジェクト」を活用することとしました。「マダ友プロジェクト」とはまだ出会ってないけど、これから出会うかもしれない未来の友だちからの手紙を読み、その返事を書くというものです。NHKのいじめを考えるキャンペーン文書には、次のように説明書きが書かれています。

自分の悩みを勇気を出して”あて名のない”手紙に書いてくれた
お友達(マダ友)がいるよ。
「どんな人がかいたのかなあ」想像するのもいいね。
まだ出会っていない友だちだけど・・・
はげましやメッセージなど、思いをこめて返事を書こう！
君の返事が”心の支え”になるかも・・・。
「みんなで助けよう！マダ友の輪！！」

事前にマダ友から届いた悩みの書いてある用紙が配られ、それに対して自分の考えを返事として書いておき、学年を超えた集団を作って話し合いをもちました。書かれていた悩みは何種類か有りました。一つ例えを挙げると部活動の悩みについてで以下のように書かれていました。

部活で〇〇部に入っていて〇〇を担当している。たまに同じ担当の子に「自分ができるからって調子にのってない？」とかこそこそ言われたりすることがあって、いつも仲良くしてるのに、そう思われているんだと思うとすごく悲しく帰るときも一言も話さずに帰ることもある。どうしたらいいと思う？



自分の考えを基に話し合いをもった後、生徒に感想を発表してもらったところ、「人にはいろいろな意見がある。どれが正しいではなくて、悩みがあったらいろいろな人に相談してみることが大切であることがわかった。」等の意見が出されました。

今や社会的に大きな問題となっている「いじめ」について真剣に考える時間となりました。

3年生からバトンを受け継ぎ1, 2年生が県新人大会で奮闘

2学期が始まってすぐの、10月18日(金)から20日(日)にかけて、県内各地の会場で県新人大会が開催されました。先日の台風19号の影響で、県内でも多くの被害があり、当初予定されていた会場が使用不可になって急遽会場を変更した競技もありました。本校からは、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、柔道、剣道、弓道、バドミントンの競技に参加しました。「チーム陽東」を合い言葉として、力一杯頑張りました。大会結果は、ホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。



市P連バレーボール大会でお父さん、お母さんも頑張った!!

10月27日(日)に市P連主催のバレーボール大会の第1日目が本校を会場に開催されました。第1日目は、4つのブロックを4つの会場で実施し、各ブロックの優勝校を決める戦いです。本校は、昨年度第3位であったので、今年こそは優勝を目指し、選手となったお父さん、お母さん方が頑張りました。シード校であったので、1回戦は不戦勝、2回戦は対鬼怒中で2-1勝利、3回戦は対国本中で2-0勝利し、見事ブロック優勝しました。次は、11月30日(土)に河内体育館において準決勝戦に挑むことになりました。生徒同様にお父さん、お母さん方にも盛大で温かな応援をお願いします。



コーラス部と吹奏楽部が県中央祭に出場



9月28日(土)に行われたうつのみやジュニア芸術祭学校音楽祭において、コーラス部と吹奏楽部がそれぞれ優秀賞となり、県中央祭への出場権を得て、10月28日(月)、29日(火)に宇都宮市文化会館で演奏を披露しました。コーラス部は、「にじのうた」を透明感のある繊細な歌声で立派に歌い上げました。吹奏楽部は、「蒼海の覇道」を強弱とリズムをきかせ見事に演奏しました。これまでの練習成果を部員全員で心をつなげてやり遂げ、満足感で一杯になりました。



・「陽東中だより」をはじめ、各種たよりや学校行事等の情報はホームページ「<http://www.ueis.ed.jp/school/yoto-j/>」にてご覧いただけます。